

学校長挨拶

中田久夫

皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年の大きな話題と申しますとなんと言いましても「未曾有の経済恐慌」であります。しかし、こうした状況の中、「好機」をもたらす「転機」として捉えている人も多くいます。

転じて、私達の歯科医療業界にとってこれを「好機」とすることができる現状はあります。現在景気対策のひとつとして「内需拡大」が挙げられておりました。これまで「グローバリズム」の中であって「内需拡大」はおぎなりにされた感がありますが、グローバリズムの掛け声の下、外国人歯科医療業界にどうしてこれができるのでしょうか。現在景気対策のひとつとして「内需拡大」が挙げられておりました。これまで「グローバリズム」の中であって「内需拡大」はおぎなりにされた感がありますが、グローバリズムの掛け声の下、一夜にして経済が崩壊するという現実を目の当たりした現在、やはり国としての体力に備えることはできないとされています。この「内需」の予先として国民の不安要素のひとつに上げられています。

4th International Congress of Dental Technology
30th Meeting of the Nippon Academy of Dental Technology
2008. 11. 21~23

10年ぶりの国際学会

4名の教員がポスター発表に参加しました。また、学生ではテクニカルコンテスト規定部門・自由部門共に2年生各3名が参加しました。

教員・学生、各種部門に参加

堂々の受賞!!

自由作品部門で本科2学年の清尾なつきさんが銀賞に輝きました。木材と歯科用合金で製作したインストゥルメント。龍と大蛇をモチーフに細部までこだわり、完成まで3ヶ月を費やした大作。

『10年に1度のコンテストで受賞できたことは本当に嬉しいです♪ ますます技工に打ち込みたいと思います』

基本の大切さ 教員井上義典

第三号

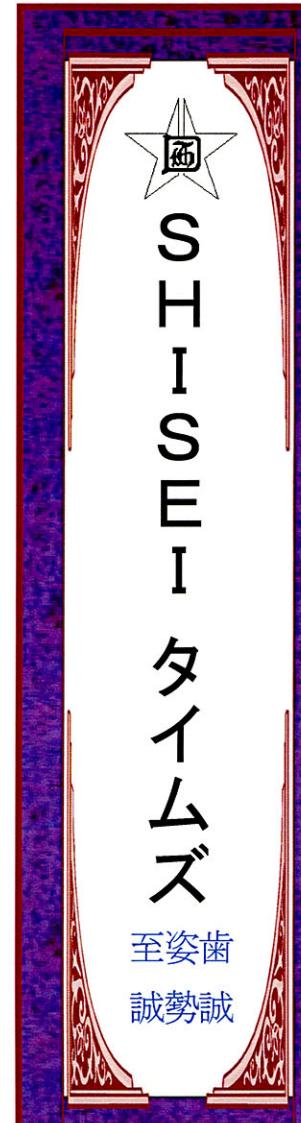
発行日 平成21年1月30日
編集・発行 北海道歯科技術専門学校
北広島市中央3丁目4番地1 電話 (011) 372-2457

ポスター発表参加教員と演題

- ノクラスブデンチャヤーのアーム部の考察(渋谷 聰)
- 歯科用Co-Cr合金のレーザー溶接部の剪断試験(秋山 友希)
- 上顎第一大臼歯における接触点の位置と大きさの調査(井上 義典)
- 射出形成法における応力集中部位(二反田 裕司)

変化していく様子が紹介されました。そして最も印象に残ったのは、『基本的なケースができれば総義歯の8割は製作できる』ということでした。これは、まず基本に忠実に作業し、その上で経験に基づいて調整を加えたり最新の材料や器材を用いたりすることで患者さんの口腔内に合った良い物が作れるということだと思います。実際に先生が製作するうえで基準とする数値は、ほとんどが歯科技工士教本に出ているものばかりだそうです。ここでは割愛しますが、先生の経験から導き出された義歯製作の基準や材料選択、手順なども示されており、今後の技工に役立てる情報が聞けました。そして、初心を思い出し改めて基本の大切さを実感した時間でした。

今後はより良い教育を目指し、また自分も一人の歯科技工士として、患者さんが健康的な生活を取り戻すお手伝いができるような仕事をていきたいと思います。そして、来年度以降も学生教育を通してテーマを見つけて、研究・発表していきたいと思っています。



第三号
発行日 平成21年1月30日
編集・発行 北海道歯科技術専門学校
北広島市中央3丁目4番地1 電話 (011) 372-2457

校友会

平成二十年度 北海道歯科技術専門学校 校友会総会・講演会



11.01
総会 in 帯広
初めて、札幌以外の場所で総会を開催しました。各地から卒業生が参加していただきました。

学術講演会では、地元のラジオパーソナリティーのmihoさんを招いて『コミュニケーション』について勉強しました。

その後の懇親会では、思い出話から技工に関する情報交換まで、話題の絶えない時間となりました。

日吉会長の下、理事会・新年会が開催されました。より魅力ある会となるように、総会の内容の見直しや、新たな企画案について検討されました。

01.31
第1回理事会

11.22 関東支部設立

関東地区で活躍している卒業生が集いました。卒業年は異りますが、同じ母校を持つ仲間です。大盛り上がりの懇親会となりました。そしてこれを機会に渡り、連携を深めようと互いに確認しました。また、姉妹校の埼玉歯科技工専門学校校友会長の坂巻氏にもご出席いただきました。



本会は加入5年の経過後は、会員の皆様から年会費として2000円の納入をお願いいたします。今後、活動をますます活発に行なっていくためにも年会費納入のご協力をお願いいたします。会費の収支内容については会費を納入していただいた会員の皆様に発送する校友会誌に記載しておりますのでご確認をお願いします。

北海道歯科技術専門学校校友会
TEL 011-373-3175 (担当 井上)
FAX 011-372-3175

また、お知り合いに住居や職場を移転され、住所等が不明になっている会員がおりましたら、校友会の情報伝達網充実のため、ご本人様から学校内の校友会までご一報いただけますようお伝え願います。

今まで振り返って・・・

PROFILE



渋谷 聰

札幌市出身
1972年12月30日生まれ
札幌日本大学高等学校卒業
趣味：パチンコ
特技：モノマネ
好きな食べ物：お刺身

教員になり、あっという間に10年が経過し11年目を迎えています。私は高校卒業後別の職業に就きましたが、今後の不安を感じ医療職への道を考え始めた頃、偶然高校の同級生（現：大手某ラボの幹部）に再会し歯科技工士という仕事を知りました。そして新たな決意を胸に本校に入学したわけです。

高校時代は勉強そっちのけでアルバイトに励み、大学受験に失敗。当時はどこの大学の倍率も20倍以上あり、「ベビーブームにやられた!!」なんて友人と言っていましたが、今考えると当たり前の結果だと思います。専門学校では人生をもう一度やり直すつもりで自分なりに必死で取り組みました。また、担任の先生（現：品川総務部長）にも恵まれ、歯科技工を“やりがいのある仕事だ”と強く感じると同時に、自分も教員になり技工の素晴らしさを伝えたいと思うようになりました。

卒業後はラボに勤務していましたが、1年ほど経って本校の教員採用があるという話を耳にした大チャンスだと燃えました。しかし教員になるには研究科を出てないと駄目という噂を聞き、研究科を出ていない私は無理だと諦めました。それから更に半年ほどが過ぎ、なんと今度は新聞に教員採用の求人が掲載されていたのです。採用試験では私一人しかいなく、そのときは人気のない職なのかあと思つたりもしましたが無事採用され現在に至ります。

改めて振り返るとこの10年間実に色々な学生がいました。海外で活躍している学生、開業した学生、車椅子の学生も立派に仕事をしています。卒業生が元気に学校に来て技工の話をすると、一人前になったのだなと思い教員になって良かった

たと嬉しくなります。しかし、学生教育はまだまだ力不足を感じています。学校を休みがちな学生や成績が思わない学生など、どうしたら目覚めてくれるのだろうか？どうしたらやる気を出してくれるのだろうか？と悩む毎日で、卒業生に会う度に白髪が増えただの太った太った“老けたな”と言われます。まあ10年も経つと当たり前でしょうか。全国の技工学校も10年前と比べ閉校した学校が10校程あります。今後も深刻な歯科技工士不足になっていくと思います。

歯科界全体を盛り上げるために北海道歯科技術専門学校の仲間たちで一致団結し、技工業界を盛り上げていきましょう。リニューアルした学校、更に設備が充実した研究所をまだ見ていない卒業生は是非遊びに来てください。

編集後記

皆様いかがお過ごしでしょうか。愛車のW650も7シーズンを経過し走行距離も5万キロとなりました。昨年は6度目の本州方面のツーリングに出かけました。今年もシーズン中は道内外を走る予定です。見かけましたら是非声をかけてください。



主任技士
高田さんから

またまた
リニューアル!!

本校のホームページご覧になっていますか？大幅にバージョンアップしました。リアルタイムでニュースを発信中！

ブログ 脅威の更新率

広報に掲載!

北広島市の広報11月号に、1年生の南部友彦君の作品が掲載されました。この“キングゴジラ”は、本校学校祭のコンテストで最優秀賞を獲ったものです。




桑田正博先生、来校!!

10月30日、2年生を対象に桑田正博先生による特別講義、翌日には研究科生に対して実技講習会を行われました。学生たちは、改めて歯科技工士として生きていく決意が固まり、また大変良い刺激になったようです。桑田先生の講演はいつ聴いても熱いです!!




地域に根ざす!

9月7日(日曜日)に北広島市主催の『元気フェスティバル』に本校も参加しました。ブースでは、一般市民の方に歯科技工士を知ってもらおうと、技工物の展示やワクスアップのテモ、石膏のペイント体験などを企画。市のサークルや団体が集結するお祭りなだけあり、大変な盛り上がりでした。来年以降も積極的に参加する予定です。



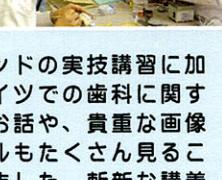

二冠のNo.1誕生!!

全国歯科技工士教育協議会による全国模擬試験が行われ、多数の受験者の中から、2年生の濱本麻希さんがトップに輝きました。第一回、第二回共にトップの二冠達成!

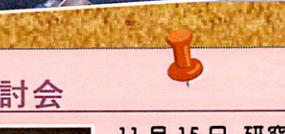


ドイツから!!

現在、ドイツのミュンヘンで活躍している横江祐介先生(第21期卒業)の特別講義が研究科で2日間にわたり行われました。

メタルボンドの実技講習に加えて、ドイツでの歯科に関する面白いお話や、貴重な画像やサンプルもたくさん見ることができました。斬新な講義が大好評でした!

ソフトボール部

夏から秋にかけて北海道新聞社旗争奪大会、会長杯争奪大会、朝日新聞社杯争奪大会に参加しました。練習不足もありなかなか思うような結果が出ませんでしたが、皆で気持ちの良い汗を流せたことは一生の宝だと思います。



臨床検討会

菊池君

11月15日、研究科生と中田校長で臨床実習を通じた検討会が行われました。設計や色調に関して、改めてお互いの共通認識を確かめました。研究科生は、今日の内容をこれから技工に活かすぞ、と意気込んでいました。また、ホワイトニングの講座も開かれ、研究科生全員がホームブリーチングを体験しました。




学校行事 (7月~1月)

北広島市体育館で開催。バレー・バスケ・卓球・バドミントン・ゴロッケーの5種目で、学年を越えて熱戦が繰り広げられました。2年生はお揃いのオリジナルTシャツを着て参加。1年生は全力プレーで翌日筋肉痛の人が続出!!



体育大会 7.2

第29回歯誠祭 10.4

今回は本当に気合の入った歯誠祭だったと思います。インパクトのある校内デコレーションや某ハンバーグ店をリアルに再現したバーセ会場、更には今時の学生らしい斬新な発想のステージイベントなど、最高の1日となりました。



ステージの裏方、音響係も全力でがんばりました。照明やボリュームなど瞬時な対応お見事でした。



テーマは『CUSP TO FOSSA～噛み合おうぜ!!』。皆の気持ちを1つに…という思いから決まりました。ポスターにもそれが表されています。

お天気の良くない日もありましたが、楽しかった。



研修旅行 11.21~

